

## 第2回 『54ら会オンラインセミナー&懇親会 2021』開催報告

—— 福井 小浜でのまちづくり ——

2021年4月14日（水）19時30分から第2回 『54ら会オンラインセミナー&懇親会 2021』を開催しました。

今年1月16日（土）に新年会を兼ねた第1回 『54ら会オンラインセミナー&新年会 2021』では『高田馬場アンダークラウド』の著者である我が同窓 本橋 信宏さん（政治経済学部）をお招きして、「著者から見た高田馬場」を懐かしくも楽しいお話を伺いました。このセミナーをきっかけに参加者が学生時代の高田馬場や名曲「神田川」を思い出し、本橋さんとの交流が深まるなど好評であったことから、第2回目のセミナーを開催するに至りました。

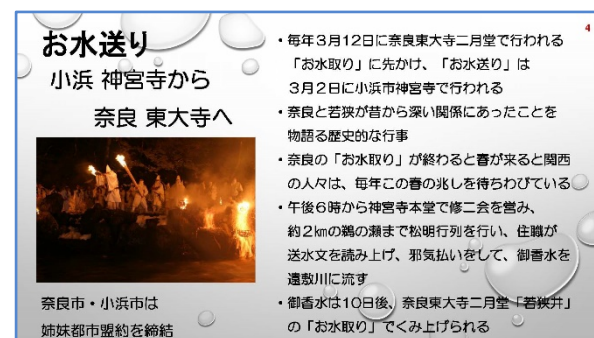
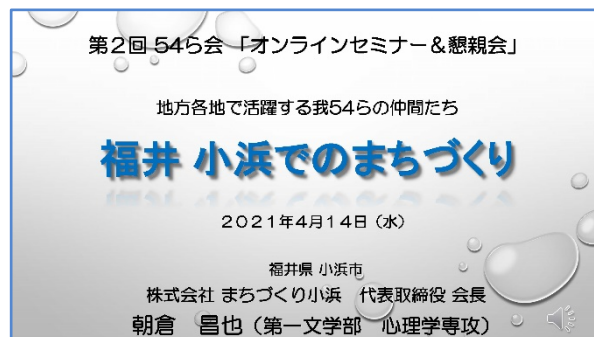
今回のセミナー発表者は、「道の駅 若狭おばま」やレストラン「濱の四季」、7棟の町家などを運営する「㈱まちづくり小浜」の代表取締役 会長の朝倉昌也さん（第一文学部 心理学専修）です。越前朝倉氏のルーツ 兵庫県但馬・朝倉一族の血を引く朝倉さんは10年以上故郷 小浜でのまちづくりに従事されています。

4編の動画や多くの写真を交えてセミナーは進行します。

まずは、奈良県東大寺二月堂で毎年3月12日に行われ、今年1270回目となる関西に春を告げる「お水取り」に先駆けて、3月2日に小浜市神宮寺で行われる「お水送り」の紹介です。壮言で神秘的な儀式を動画で観ることができました。

小浜と言えば、鯖街道の起点。そして、「御食国若狭と鯖街道」と「北前船の寄港地・船主集落」の日本遺産W認定の街。重要伝統的建造物群保存地区の町並み、伝統工芸、若狭もんや京に送る四十物（あいもの）、国定公園 若狭湾、神仏混交の地である神社・仏閣などが紹介されます。

でも、やっぱり“鯖”ですね！さばサンド、へしこ、鯖の醤油干し、鯖なれずし、濱焼き鯖、そして、朝倉さんが開発されたへしこバーニャカウダなどなど！



世界に誇る観光地形成に向けて観光庁が選定した32の重点支援「観光地域まちづくり法人」の第1弾で認定された「㈱小浜まちづくり」では滞在型観光を推奨されています。取り組まれている事業に参加者は引き付けられて魅入ってしまいました。

セミナー中はZOOMチャットで朝倉さんへのエールや質問、そして「へしこ、チビチビ。日本酒、ガンガン。」「小浜に行ってみたくなりました」、「くずまんじゅう、おいしそう！」などの数多くの感想が飛び交い、オンラインといえども双方向性を感じながらあっという間に楽しい時間が過ぎてセミナーは終わりました。

懇親会では、朝倉さんがオンライン発信場である町家からその室内や、へしこ、ワカメのしゃぶしゃぶなどアドリブ放映もあり、で「観ているだけでなく、食べたい！送ってくれ！」との大歓声（皆自宅です、ご安心を！）。

大学卒業以来42年ぶりに再開する方もおられて懐かしさと昔話が始まったり、長崎県雲仙市にお住まいの村山信一郎さんから長崎県小浜市の紹介をされるなど、このセミナーを通じてますます“54らの和”が広がっていきます。

朝倉さんのご厚意でセミナーの中で放映された動画や観光案内、東京の福井アンテナショップや通販などを記した「小浜市関連WEBサイト・SNS」資料を参加者全員手にしました。おそらく、記憶も新たなうちに動画を再度観たり、東京「福井食の国」で小浜産の名産を買われたことでしょう！

このセミナーでは朝倉さんのお友達である第一文学部や早稲田テニスクラブ（WTC）の仲間が多く参加され、14名の方が初参加です。54ら会としても新たな仲間が増えたことをうれしいことです。

参加者全員が小浜ファンとなり、ワクチン接種を打って安全・安心な状況で小浜を訪れることを約束して、セミナーはお開きとなりました。

（ホスト：幹事長 中村敏昭）



【参加者】 敬称略（申込み順）

（第一文学部）朝倉昌也、村山信一郎、山田京子、上嶋正彦、小笠法之、河原新太郎、山口義裕、

櫻井直子、梶田あずさ、田中典子、塙宏美、堀尾正明、篠原泰司、首藤典子、名取利之

（第二文学部）山口博

（政治経済学部）竹室栄、住吉環、房元、番平均

（法学学部）北川隆雄、小林章子

(教育学部) 岩野尚江

(商学部) 仁多玲子、広渡紀子

(理工学部) 中村敏昭、末永裕一、村富洋一、岸田創、益田あけみ、老久保敦、益田聡、岡野勝、  
日比野悦久

(社会科学部) 福島碧、斎藤悟 計 36 名